

- 聞き状況を把握している。
  - ⑤「4プラス1ない」運動に対する保護者の理解と協力態勢の強化
  - ⑥交通安全カウンセリングの実施
- 免許取得生徒を対象に、安全運転の手引き等を利用して、個別指導を実施している。

#### 四「交通安全指導をとおしての評価と今後の課題」

生徒自らが安全意識を持って行動するような、自律性を育てる指導の場面が少ないのが現状であり、このような観点から、今回、生徒自身が積極的に活動できる組織づくりに力を入れた結果、次のような多くの変化が見られた。

- ①交通安全自治会と生徒会の委員会活動の活性化
  - ②交通安全意識の高揚
  - ③自転車通学時のマナーの自覚
  - ④交通違反者の減少
  - ⑤自転車事故の早期通報連絡
  - ⑥自転車置き場の整理整頓の徹底
  - ⑦自転車へのいたずらの激減
  - ⑧盗難自転車の回収率の急激な増加
- これらの変容の要因の一つは、生徒が組織的に交通安全運動に参加した結果であると考えられる。今後の指導の中で、生徒の運営による組織活動の充実を目指していきたい。

#### 特別活動の指導と充実を図る

#### (一)「生徒会及び生徒会行事への援助と指導」

生徒の自律性を高めるためには、実践的な活動とそれに対する指導の場が必要であるが、生徒会では役員たちの個性と自律性を重視しつつ、さまざまな生徒会行事の立案と実施への援助と指導を行った。

六十三年度は、十年以上実施されなかった文化祭を復活させたいという生徒の希望が盛り上がり、体育祭を「好高祭」に変更して実施することができた。この行事をとおして生徒たちは、一つの行事を企画・運営

することの大変さを味わうとともに、終了後の成就感も味わうことができようである。

平成元年度は特に、全生徒が生き生きとした学校生活を目指し、生徒会行事に関心をもち、積極的に参加し、民主的に運営できるように配慮した。まず、すべての生徒会行事について、LHR、HR長会、部長会、生徒会総会、リーダー研修会等で討議させたため、計画や内容が常に全生徒に周知され、生徒一人一人の意見や意欲が反映されるようになった。その結果、生徒会に対する生徒の関

心が高まり、生徒会行事全体が盛り上がりつつあった。以下に主な生徒会行事について概要を述べる。

- ①リーダー研修会
- (ア)期日 平成元年五月二十七日(土)・二十八日(日) 一泊二日
- (イ)場所 四倉子ども村
- (ウ)参加者 生徒四十二名(生徒会役員、家庭クラブ役員、各HR代表、各種委員会委員長、指導者二十一名(校長、教頭、教諭他))
- (エ)主題 「好高のために何ができるか」「校風」
- (オ)反省
- 計画、準備、反省の面で成功した。
- 生徒会執行部の団結力を高めた。
- テーマ討論から一年生は上級生の考えを知り参考になった。
- 参加生徒の潜在能力を引き出すのに有効な研修であった。
- (カ)今後の課題
- 生徒に更に主体性を持たせ、内容の充実を図る。
- 参加生徒から一般生徒への波及効果を高める方策を考える。
- より多くの生徒に研修の機会を与える。
- リーダーとして活動している生徒たちのため、学期ごとに反省会を開き、さらに研修を深めさせる。
- ②文化祭(好高祭)

#### 資料3 「好高祭」実施までの経過

月 日	経 過
昭和63年	
4, 5	生徒会役員と一部の生徒の間に文化祭の話題が盛り上がる
5・28, 29	リーダー研修会において文化的行事の検討
6・23, 24	生徒会他校訪問で県立福島北高校、本宮高校の文化祭の内容と意見を聴取
7, 8	生徒会役員で検討
9・6	全校生徒に意識づけるためのポスターを作成 7日掲示
8	内容の具体化
10	県立湯本高校の文化祭準備を視察
22	全校生対象のアンケート実施
24	1回目のアンケート結果を集計、各HRに配布
26	1回目のアンケートをもとに、内容を具体化した2回目のアンケートをLHR時に実施
28	第1回HR代表者会で反対者の意見を把握するため生徒会役員と話し合う
10・1	各HRではどのような文化祭にしたいのか、再度検討するよう指示
3	第2回代表者会、各HRの問題点を提示し検討
18	各種委員会、(必修)クラブ代表者会、内容と意見を伝える。(職員会で検討)
21	(臨時職員会において「好高祭」の実施承認)
28	「好高祭」までの日程を作成配布
31	LHRで各HRの「好高祭」実行委員を選出、放課後実行委員会を開く
11・1	体育的行事のメンバーとステージ発表の内容を各HRで決めるよう指示
2	文化部と家庭クラブの打合せ
7	各HRのメンバーとステージ発表の内容を実行委員会に提出
9	プログラム作成開始、各HRの準備開始
15	プログラム配布、保健・生活・放送委員会の打合せ
21	実行委員会(係り分担)
22	最終準備(グラウンド、ステージ)
23	祭日だが生徒会、美術部等の準備
24	「好高祭」当日、雨天のため午前予定されていた体育的行事は中止、午後のステージ発表と美術部、学校家庭クラブ、華道クラブ、JRCの作品等の展示を実施

- 「好高祭」は、六十三年度の生